

～友 愛～

富田中学校だより

学校教育目標

「確かに生きる」

令和 4年12月13日

No.19

□ 1年生 人権フォーラム

11月28日(月)5・6限目に、富田小学校6年生の皆さんを招き、体育館と武道場に分かれて「人権フォーラム」を開催しました。富田中学校1年生と富田小学校6年生が一緒になって、人権について考えたり、話し合ったりする行事です。これは、四日市市内の中学校区すべてで実施している人権学習の取組です。

今回は、過去の富田地区人権標語について考える中で「どうすれば言えるのだろうか」という「めあて」で行いました。

まず、司会者の指示により円になって小6と中1の児童生徒が交互に座りました。そのグループで、アイスブレイクを兼ねた自己紹介を行いました。

続いて、「我慢せず 声に出そうよ ○○○」という人権標語の○に入る言葉をそれぞれが考えました。それをもとに各グループで意見交流を行った後、全体での交流を行いました。

「声に出すことは勇気がいる」といった気持ちを話し、どうすれば声に出せるかを考えました。

傍観者にならず、一人ひとりが今隣にいる人を思いやり、大切にする。そんな雰囲気をもみなでつくり上げていくとともに、今回の人権フォーラムで感じたことや考えたことを、学校生活も含むあらゆる場面で活かしてもらえることを期待しています。



□ 1年生 薬の正しい使い方 薬物乱用防止教室

11月30日(水)6限目に学校薬剤師の平岡伸五先生を講師としてお招きし、1年生が薬の正しい使い方&薬物乱用防止教室を行いました。

最初に、健康な毎日を過ごすために「頑張るのは自分で薬はその手助けをするもの」であることを確認しました。

次に、普段自分たちが服用する機会のある「薬」についても正しく使うために、その服用方法等について話していただきました。

薬を服用する際、使用する水分について正しく知るための実験も行っていたが、代表の生徒が、水と鉄分、お茶と鉄分を実際に混ぜました。中には真っ黒に変化したものもあり、その結果に生徒たちは驚いていました。

その後、たばこ、酒、カフェイン、危険ドラッグなど、薬物を乱用することの危険性についても学びました。

本日、学習した内容を忘れずに実生活でしっかり活かして欲しいと思います。



実験の様子です

□ 1年生 人権講演会

6日(火) 6限目、北勢きらら学園の松本大典先生を講師としてお招きし1年生が人権に関する講演を聞きました。

松本先生は、まず北勢きらら学園で、給食で使用しているスプーンについてのお話をされました。北勢きらら学園の生徒のスプーンは、大きさや柔らかさなどが一人一人に応じて違うことを教えていただきました。また、「様々な工夫をしながら生活していくことは誰にとっても必要なこと」「障害は個人の中にあるのではなく社会の側にある」という社会モデルの考え方についても話されました。

最後に「障害のあるなしに関わらず、すべての人が尊重され、豊かに、幸せに過ごせる社会、つまり『共生社会』をみんなで作っていきましょう」「そのために、大人だけが頑張るのではなく、中学生のみなさんにもできること、中学生だからこそできることがたくさんあります」「みなさんの学校や街を、もっともっと学びやすい学校、暮らしやすい街にしていきたい」「そして、みなさんがそうすることで、だれにも優しい人々が暮らす国、世界で一番人々に優しい国になっていくことでしょう」というメッセージで締めくくられました。



□ 校内人権学習発表会

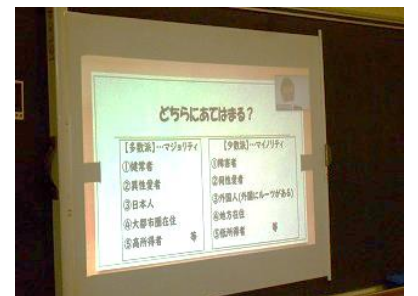
8日(木) 6限目に「各学年で学んだことを共有することで、見方や考え方を広げたり、深めたりする」「人権について深く考え、差別や矛盾をなくすための意識や行動力を高める」ことを目的として、校内人権学習発表会を行いました。

今年も感染症対策のため、体育館での一斉開催ではなく事前に収録した各学年代表の作文発表を教室で視聴しました。代表5人の発表からは、学校での学習や自分の経験から「どのように行動していきたいか」「どんな社会にしていきたいか」の思いが語られました。また、聴いている生徒からは、自分の経験と重ねながら考えを広げたり、深めたりしている様子が伝わってきました。

作文発表後、四日市市教育委員会人権・同和教育課の笠井良祐先生からZoomで、「差別をなくすには」というテーマで代表者の作文に込められた「人権尊重」のポイントや「なぜ人権学習が必要なのか」ということについて、パワーポイントを使ってわかりやすく説明をしていただきました。

また、講演の最後に「差別についての学習をしないことは差別を増やすこと」「じっくりと振り返ること、自分の話をする事、みんなと共有してもらうこと、が差別をなくすための行動の1つである」と伝えていただきました。

今日の授業を通じて感じたことを胸に、自分の人生や人間関係をより豊かにしていきたいでしょう。



各学年代表の皆さん

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1年生 牧田真依さん | 「いじめの傍観者だった私」 |
| 2年生 池本岳留さん | 「誰しものが持っているかもしれない差別心」 |
| 3年生 山下葵衣さん | 「皆が鉛筆を持てるように」 |
| 川上悠さん | 「差別の裏側にあるもの」 |
| 園部なつめさん | 「一周回ってみる」 |